

奈良女子大学大学院生活環境科学教員（助教）のテニユア審査基準

生活情報通信科学領域

奈良女子大学大学院生活環境科学系教員（助教）の生活情報通信科学領域におけるテニユア審査基準については、次の通り定める。

奈良女子大学テニユアトラック制に関する審査基準要項第3条に定める「教育」、「研究」、「社会連携」、「管理・運営等」のうち、以下の3項目について、全ての必須条件を満たし、かつ、いずれかの項目において顕著と認められる業績・実績を有すること。ただし、必須条件に達しない項目があっても、その他特筆すべき事項がある場合には、審査において考慮する。

【必須条件】

1. 教育

生活環境学部文化情報学科カリキュラム記載の科目の講義、演習、実験などを担当し、適切に実施している。

2. 研究

採用後4年経過時点で、本学在籍中に実施した研究に関する論文が、分野の主要な学術誌（権威のある国際学会のプロシーディングを含む）に2報以上、主たる貢献をした著作として掲載または掲載決定されている。

3. 管理・運営等（全学および学系への貢献）

全学および学系の管理・運営に積極的に参画している。教育研究分野の管理・運営を、同分野に所属する他教員と協力して主体的に行っている。